

2023年度(上半期)

事業所自己点検チェックリスト [ラヴォーロあおの丘New 就労継続支援A型事業所]

チェック項目	評価 (1~4を記入)	【記載欄】 ・うまく工夫している点 ・具体的にできていない内容や理由 ・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 など
	1 サービス提供方針を明確にしている	20
① 利用者を主体とした支援を行なっている。	4	
② 利用者の意思を尊重し、利用者自身の自己決定の機会を保障している。	4	
③ 運営規程や活動内容、個別支援計画等の内容について、利用者に正しく説明を行い、同意を得ている。	4	毎年度事業所説明会を実施し、サービス、雇用契約内容等の変更について説明しています。
④ 利用者の社会参加の機会を保障している。	4	就労の場の提供を保障しています。
⑤ 障害者福祉に関する法令、人権、労働、社会保障、消防等事業の運営に係るすべての関係法令を遵守している。	4	運営規定、重要事項説明書、就業規則に基づき遵守に努めています。職員の倫理について雇用契約時、職員全体に周知しています。
2 社会参加・地域連携に取り組んでいる	15	
① 利用者が地域社会に参加し、役割を担い、社会経験の幅を広げる機会を作っている。	3	就労活動以外、会社見学を計画、法人行事を通して経験の幅を広げることができるよう支援しています。
② 地域の企業や産業等との連携を通して、地域社会のニーズに応じた生産活動を行っている。	3	受託元企業の要望にできる限り対応し良好な関係を保つことが出来るよう努めています。
③ 社会資源を活用し、地域における障害者のニーズに応じた支援に取り組んでいる。	3	社会資源の活用について難しいが、地域の中で働きながら生活していきたい方へ支援を継続しています。
④ さまざまな関係機関・団体と連携し、地域における支援のネットワーク作りに取り組んでいる。	3	他事業所とのネットワーク作りと連携、情報交換が課題。
⑤ 地域のなかで、事業所が地域の状況に応じた役割を果たしている。	3	A型事業所として役割を担っている。
3 支援体制を整えている	18	
① サービス提供に必要な人員を配置している。	3	整ってきている。人材育成が課題。
② 事業運営の理念・方針が設定され、職員間で遵守されている。	4	
③ 職員が心身ともに健康で意欲的に支援を提供できるような労働環境を整備している。	3	
④ 職員の知識・技術の向上のために、研修等の機会を確保している。	4	毎年所内研修2回実施。その他研修について随時情報提供と参加意向の確認を行っている。
⑤ 職員間の意思疎通、支援内容の共有等を行うための時間や機会を日常的に確保している。	4	支援会議の他、朝ミーティング後、サービス終了後の時間に共有を図っている。
4 権利擁護・虐待防止に取り組んでいる	20	
① 職員による利用者への暴言や差別等の不適切行為を防ぐため、支援者間で支援を振り返り、意識を高めている。	4	随時職員間で声掛け方法について確認をしている。
② 職員による利用者への虐待行為を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	4	今年度は全職員参加の研修会を実施できた。
③ 利用者からの苦情に対する「苦情解決体制」やマニュアルを整備し、適切に対応している。	4	
④ 虐待防止委員会の設置等、職員による虐待・差別行為の防止を徹底している。	4	各事業のサービス管理責任者が虐待防止委員となり、年間計画に基づき虐待防止アンケートや、全体研修を実施し作業室では個人情報の取扱いに留意している。事務室へ利用者が出入りする場合、情報が見えないよう配慮している。
⑤ 個人情報の取り扱い、秘密保持に十分注意している。	4	
5 緊急時の対応のための備えができています	15	
① 「緊急時対応マニュアル」が策定されており、利用者の事故やケガ等が生じた際の対応を行っている。	3	マニュアルあり、事故なし。
② 身体拘束について職員間で共有し、やむを得ず行う場合の対応についての記録や説明を十分に行っている。	4	全利用者の契約時、やむを得ず身体拘束を行う場合の説明を行い同意書に署名をいただいている。
③ 防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定している。	2	感染症対応マニュアルあり。防犯マニュアルなし。
④ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	4	火災時、洪水時を想定した避難訓練を年2回実施している。
⑤ 安全確保のためのヒヤリハット事例集を作成し、職員間で共有している。	2	ヒヤリハット事例報告が少なく共有に至っていない。
6 業務改善の仕組みがある	14	
① 業務改善を進めるために、PDCAサイクルに広く職員が参画している。	3	
② 利用者の意見を把握するためのアンケート調査等を実施し、その結果を業務改善につなげている。	3	利用者アンケートを実施。掃除時間についての意見から再度アンケートを実施し現状のままとしている。今後も利用者アンケートを継続し検討していく。
③ サービス提供時に得られた事柄を、マニュアルや手順書の見直しに反映させている。	3	
④ この「自己点検チェックリスト」の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	4	
⑤ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	1	していない。
7 アセスメントを適切に行っている	18	
① 利用者の意思を尊重し、利用者一人ひとりのニーズや希望する生活等を、アセスメントを通して把握している。	3	毎年利用者アンケートと共にアセスメントに関わる事項のアンケートを実施し更新している。面談時に聞き取りを行い把握に努めている。
② 利用者の理解度に合わせてアセスメントの趣旨と今後の手順を適切に説明し、丁寧な聞き取りを行っている。	3	ご家族へ連絡の際、その都度ご自宅の様子聞き取りや意向の確認はしていますが、タイムリーではない場合もありま
③ 利用者の心身の状況や障害特性等を適切に把握している。	4	
④ これまでの生活歴や支援経過も念頭において、聞き取りを行っている。	4	
⑤ 利用者に関係する部署、機関、家族、ボランティアなどから情報を収集している。	4	ご家族へ聞き取りを行っています。

8 個別支援計画に沿った支援を行っている	15	
① 利用者一人ひとりのニーズや希望する生活等を実現するための支援を個別支援計画に記載している。	3	作成毎個人面談を行い希望の聞き取りを行っています。
② 個別支援計画の内容は、相談支援専門員が作成したサービス等利用計画の内容と連動している。	3	
③ 目標、期間、支援内容が具体的であり、役割が明確になっている。	2	現状を維持したい方にとって具体性に欠けている部分もある。
④ 個別支援計画作成の際にできるだけ利用者の言葉を用いて分かり易く表現している。	3	
⑤ 個別支援計画の内容を支援者間で共有し、計画に沿った支援を行なっている。	4	
9 利用者の状況に応じた支援を行っている	15	
① 利用者の心身の状況や障害特性等を把握し、一人ひとりに応じた適切な支援を提供している。	3	
② 利用者の特性や状態に応じて、利用者が安心して過ごしやすい環境を整えている。	3	
③ 支援内容の説明や情報の提供の際は、利用者の特性に配慮して、適切に行っている。	3	
④ 利用者と共に意思疎通を図り、円滑なコミュニケーションがとれるよう努めている。	3	相談や訴えがあつた際、その都度個別の面談を行い、休憩を促したり、対処法を一緒に考え随時対応をしています。訴えが少ない方に対して聞き取りはやや少ない傾向にあります。
⑤ モニタリングを行い、利用者の状況や意向を確認し、それを反映した支援を随時行っている。	3	個別面談を実施し聞き取り、個別支援計画書に反映しています。
10 就労に関する支援を行っている	14	
① 生産活動によって得られた収入から、利用者の工賃を適切に支払っている。	2	昨年度は年間約110万円の不足あり。
② 工賃の向上のために、営業活動等の収益を増やすための取り組みを行っている。	2	受託作業において品質、納期を遵守。工賃向上の取り組みまでに至っていない。
③ 生産活動を通して、一人ひとりの役割ややりがいを高めるための取り組みを行っている。	3	作業進捗の情報を共有。作業に対し日々声掛けを行い、次の意欲に繋がるよう支援をしています。
④ 利用者の希望に応じて、一般就労への移行のための取り組みを行なっている。	4	関係機関と連携しながら支援をしています。
⑤ 生産活動に必要な設備、備品等、利用者一人ひとりの特性に応じた工夫をしている。	3	

※この「自己点検チェックリスト」は、平成30年度厚生労働科学研究費補助金「障害者の福祉的就労・日中活動サービスの質の向上のための研究」を通じて作成したツールであり、結自事業所の取り組みを振り返るにあたって参考にさせていただくものです。

チェック項目	評価 (合計)
1. サービス提供方針を明確にしている	20
2. 社会参加・地域連携に取り組んでいる	15
3. 支援体制を整えている	18
4. 権利擁護・虐待防止に取り組んでいる	20
5. 緊急時対応のための備えができています	15
6. 業務改善の仕組みがある	14
7. アセスメントを適切に行っている	18
8. 個別支援計画に沿った支援を行っている	15
9. 利用者の状況に応じた支援を行っている	15
10. 就労に関する支援を行っている	14
合計	164

／200

